

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより

No. **41**
2023.Oct.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品 『A luxurious moment』

甲斐 千晶 (2022年 美術科卒業)

現実の女性の美しさをリアルに表現することを目標に制作しています。
優雅な雰囲気テーマに特別感を出し、その中の一瞬を切り取ったような作品になっています。

Contents

- ① 先生おすすめの1冊
- ② AV視聴コーナーへ行こう！
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ 意外と知らない図書館活用術！

先生おすすめの一冊



美術科

荻野 哉 先生

『水中の哲学者たち』

永井 玲衣 著 104/N14

私の担当授業の中に、「美の世界」という共通教育科目があります。美術科の専門科目とは異なり哲学的な色合いが強い内容で、「センス」や「コピー」といった言葉を、さまざまな視点からとらえ直すことが目的のひとつです。感染症の世界的な大流行、ロシアのウクライナ侵攻などで先行きが見えない時代となったためか、自分の普段の行動や常識を問い直す営みは、学生の間でも関心を集めているようです。

哲学対話のファシリテーターとして活動する永井玲衣さんのこの本には、堅いところはほとんどありません。目次を見渡すと、

「おろおろ」、「もうやめよう」といった柔らかい言葉が並んでいます。これらの小題にひきつけられて読み始めると、まさに私に、あの人に、この世界に問いかけるものであったことに気がつきます。「哲学をすることは、世界をよく見ることだ。くっきりしたり、ぼやけたり、かたちを変えたりして、少しずつ世界と関係を深めていく。揺さぶられ、混乱し、思考がもつれて、あっちへこっちへ行き来する。これは、朝に目を覚ましたときの感覚に少しだけ似ている」（「まえがき」より）。「世界に根ざしながら、世界を見ること」の難しさと楽しさを味わいたい方に、おすすめの一冊です。

（おぎの はじめ／美学・西洋美術史）



音楽科

林 満理子 先生

『精神科医Tomyが教える心の荷物の手放し方』

精神科医Tomy 著 159/To62

現代はストレス社会と言われ、何かと精神的に疲れてしまう、悩みが頭から離れなくて苦しい……そんな風に元気がなくなる場面も多いと思います。元気が出ないと自分を取り巻く世界がつまらなく見えたり、何となく気分が乗らなかつたり、目の前のことが楽しめないこともありますね。

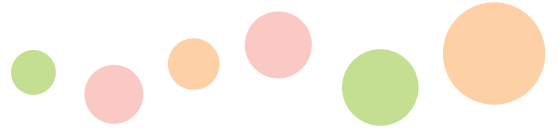
そんな時におすすめののが、『精神科医Tomyが教える心の荷物の手放し方』。この本は短編の物語が集められ、様々な心の悩みが描かれています。読み進めると、まるで自分が主人公になったような疑似体験ができ、あっという間に読み終え、最後には心が軽くなった！という感覚になれる不思議な本です。

悩んでいる時はその悩みに執着して、考えを整理するのが難しくなりがちですが、シンプルな思考の重要性を優しい言葉で教えてくれます。しかも受け入れたいような口調だから（ここが素晴らしい！）、試してみようかなという気持ちにさせてくれます。

Tomy先生は、X（以前はTwitter）においても心の健康に必要なアドバイスを軽やかな口調で発信している精神科医。38万人のフォロワーを持ち、著書も多数です。

心が元気じゃなければ、毎日が楽しくない。この本から多くのヒントを得て、自分らしく、心身ともに健康で前向きな毎日を手に入れてください。（はやし まりこ／声楽）





国際総合学科

木村 淳也 先生

『本を読む本』

M.J.アドラー, C.V.ドーレン [著] ; 外山滋比古, 榎未知子 訳

019/A16

本来、本とは自由に、好きなように読んで構わないものです。でも、何だか本が読みにくい、もっと効率的に本を読む方法があったら……そんな悩みを持つ人も多いのではないのでしょうか？

そのような悩みは世代を超えて共通するようで、試しにAmazon で「読書術」と検索すると、本の読み方を解説したビジネス書が1000件以上もヒットします。ですが、これらの大半は小手先のテクニック紹介ばかり、という印象を受けます。

今回、私が皆さんにご紹介する『本を読む本』は、「本を読む」ということは一体どういうことなのか、

なぜ本を読まなくてはならないのか、知的かつ効率的な読書とは何なのかなど、読書にまつわる基本的な疑問に答え、本を読む方法を丁寧に解説した、読書指南の古典的名著です。

大学生活では、レポートをまとめたり、論文を書いたりするため、日々の「読書」がどうしても必要です。もし、あなたが本を読むことに多少の苦手意識を持っているのなら（もちろんそうでなくても）、この本を手にとってみてください。きっと、皆さんの心強い味方になってくれると思います。そして願わくば、この本を伴走者として、大学を卒業したあとも読書を続けていって欲しいと思います。 (きむら じゅんや/日本文学)



情報コミュニケーション学科

藤田 文 先生

『利他学』

小田 亮 著 361.4/017

心理学の授業で「“最近、人に助けてもらったこと”を教えてください」と言うと、たちまちC-learningが埋め尽くされます。おばあちゃんが一人暮らしに必要な物を送ってくれた、母親が悩みを聞いてくれた、友達が放課後に課題を手伝ってくれた、バイトのミスフォローしてもらった、フードドライブ、旅行中に現地の方が道を教えてくれた等々、読んでいっただけで心が温かくなります。

なぜ人は人を助けるのでしょうか。自分の時間や手間を割いて、他人を助けようとする傾向を利他性と言います。人は、家族や親戚などの血縁関係だけでなく、赤の他人も助けますよね。人を助けたら、次に自分にお返し

があるから助けるのでしょうか。お返しが返ってくるかわからなくても、助けるのでしょうか。この本は、このような人間の利他性を科学的に考えていくものです。

助けてもらおうと感謝の気持ちが芽生えます。感謝されるのも嬉しいですが、実は感謝する人の方も心が満たされていると言われています。「ありがたいなあ」と思って、嬉しくなって、次は自分が助けてあげたいという気持ちにもなります。日々、「お互い様ですね」と思える人間関係を作れたらいいなと思っています。 (ふじた あや/発達心理学)





AV視聴コーナーへ 行こう!



国際総合学科

前山 悠先生 おすすめのディスク

『セッション』

2014年 アメリカ (DVD)



アカデミー賞の三部門（助演男優賞、編集賞、録音賞）で受賞し、広く高い評価を得ている作品ですから、ご存じの方も多いかもかもしれません。私の中では「すこぶるカッコいい作品」という位置づけで、これを最後まで見れば気分も高揚、という効能を持っている気がします（おそらく個人差あります）。しかしそのカッコよさを説明すると物語の核心に抵触してしまいますので、ここではあくまで概略的で周辺の紹介にとどめる所存です。

端的に言えば、この映画はジャズ音楽における師弟の物語です。プロのジャズドラマーを目指し、音楽学校で血の滲むような（文字通りスティックを持つ手がすりむけ血にまみれるほどの）努力を積む主人公アンドリュー。その教員であり、恐ろしく厳しい指導で生徒たちを震え上がらせるフレッチャー先生。しかしそのような鬼の指導者も、実は弟子思いの優しい一面を隠し持っている……というありがちな期待は裏切られ、フレッチャー先生には温もりある人間味と呼べるものなど一切見受けられません。ただただ苛烈に厳しく、氷のように冷酷で、悪魔のように意地悪く、放送禁止用語をふんだんに交ぜた罵倒をこれでもかと生徒に浴びせ、物を投げつけ、平手打ちをくらわせる。

しかも、技術的に有効な指導をしてくれるわけでもない。

「倍の速さで叩け」など、やり方を教えずひたすら無茶な要求を繰り返しているだけのように見えます。それにもかかわらず、私たちは「厳しいながらも思いやりがあり、説明はしないが秘めた意図を持ち、結局は弟子を見事に鍛え上げる有能な師」という物語に慣れきっていますから、幾度となくその期待を裏切られながらも、実はフレッチャー先生も真つ当な指導者である（あるいはそう変化する）のではないかという思いを捨てられぬまま、物語の最終局面へと突入することになるでしょう。そして、そのように我々の持つ古き良き師弟のイメージが危機にさらされ続けた後だからこそ、ラスト・シーンのカタルシスは可能になるでしょう。

ちなみに、非常に不思議なことではありますが、生徒を震撼させるフレッチャー先生の恐怖は、鑑賞者にはむしろ笑いを引き起こすように思えます。フレッチャー役の俳優J. K. シモンズによる「怖い教師」の造形があまりに見事すぎて、一種の芸術的なユーモアに到達していると言うべきでしょうか。演技の芸術性、それをこれほどまでに確信させてくれる映画には、そうそう出会えるものではありません。
(まえやま ゆう/フランス文学)



視聴覚資料(CD・DVD等)の利用方法

- ① 視聴したい資料を各コーナーで1点選び、そのケースをカウンターへお持ちください。DVD等はAV視聴コーナーに、CDはCDコーナーに配架しています。
 - ② カウンターで「視聴覚資料鑑賞申込書」に記入後、ディスクと視聴ブースの鍵とリモコンをお渡します。
 - ③ AV視聴コーナーの指定されたブースで視聴してください。
- ※ 持ち込み資料を視聴することも可能です。カウンターでお申し出ください。
※ DVD等は館外貸出できません。CDは貸出可能です。



学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」(毎年2回実施)を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計97冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。



学生選書ツアーに参加して

音楽科 1年 砂川 慧乃

皆さんは何をきっかけに本を手に取りますか？人にオススメしてもらったことはもちろん、私は、タイトルや表紙のデザインに惹かれて本を手にとることが多いです。

今回、図書館では出会えない、より多くの本との出会いを求めて、選書ツアーに参加しました。また、以前友人が、私のすすめた本を実際に読んだことを教えてくれたことがあり、そのことがとても嬉しかったことも、参加の理由の一つです。

本を選んでいる時、自分の目に留まったものを好きなようにカゴに入れていくことは、これまでしたことのない経験で、新しい本を読むことがとても楽しみになる時間でした。

選書ツアー後の意見交換会では、それぞれが本を選んだ理由や、本について様々な話が聞けて、とても刺激を受けました。

好きな作家の作品をたくさん読むことも素敵なことですが、人からすすめられた本や、書店や図書館のオススメコーナーを見えることで、これまで自分が読んだことのないような本と出会うことができます。今回私たちが選んできた本は、どの本もたくさんの人に手に取ってもらいたいという思いがあります。

ぜひ一度本を見に来てください。新しい出会いがきっとあるはずです。図書館で本たちが待っています。

参加者が特にすすめる本のコメント

専攻科造形専攻 1年 緒方 美優

『子犬の絵画史』

さまざまな国・時代の絵画において動物はモチーフとしてよく描かれてきた存在です。そのなかでも本作は、日本美術のなかでの子犬にフォーカスしています。コロコロとした可愛い子犬たちの姿は、今も昔も変わらず人の心を癒していたようです。気軽に読めて可愛い一冊です！

金子信久 著
721.025/Ka53



『温かいテクノロジー：AIの見える方が変わる人類のこれからが知れる22世紀への知的冒険』

家族型ロボット「LOVOT」をつくる会社の創業者の著作です。「愛されるために生まれた」ロボットの開発秘話や、社会での素敵な活躍が書かれています。テクノロジーと共存する未来を考えることで同時にこれからの人間がどうあるべきかが見えてくる、優しく先進的な一冊です。

林要 著
548.3/H48



美術科 2年 北原 葉月

『聞く習慣：自分と人生が変わるいちばん大切な会話力』

この本は接客のバイトをしている私にとって勉強になる本でした。「聞く」習慣をつけることで話が上手くなるということを教えてくれる本です。対話をするうえで相手の話を「聞く→返す」が重要だと痛感できる内容でした。話すことが苦手な人にも得意な人にも読んで欲しい一冊です。

いしかわゆき 著
361.454/I76



『マンガでわかるLGBTQ+』 パレットーク 著;ケイマンガ

LGBTQ+という今よく聞く言葉で選びました。事前知識はありましたが、セクシャルの種類が多さに改めて驚きました。また、分かりやすく漫画で描かれているので性についてよく知らないという方におすすめです。知るだけで世界が変わると思うので、ぜひ読んでみてください。



美術科 2年 舟橋 美結

『パッケージデザインのひみつ』

日本パッケージデザイン協会 監修
675.18/N71

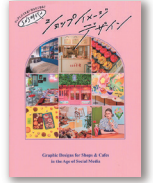
蓋になんでヨーグルトがついてないんだろう？牛乳パックの上部にある「ボゴッ」はなんであるんだろう？身の回りのパッケージを見ていてそう思うことはありませんか？何気に見ているパッケージには、私たちが使いやすいように色々な工夫がされていることがこの本で分かります！



『SNS時代のショップイメージデザイン：パイインターナショナル 編集 シェアしたくなる!行きたくなる!』

674.3/P15

アンティークショップのような洋菓子店、韓国の女の子の部屋のような雑貨店、おもちゃ箱のような空間のアイスクリームショップ。見ているだけでわくわくするようなショップがたくさん紹介されています。きっと行ってみたいと思うお店がひとつは見つかるはずですよ。



音楽科 1年 砂川 慧乃

『あの日、君は何をした』

まさきとしが 著
913.6/Ma61

一見関係のないような出来事が、物語を読み進めていくうちに繋がっていき、結末にたどり着いた時、はっとさせられました。物語の点と点が繋がるのを楽しみながら、物語の展開をぜひ味わってみてください。きっと最後まで一気に読みたくなるでしょう。



『平常心のコツ：「乱れた心」を整える93の言葉』

植西 聡 著
159/U44

誰でも緊張することがあると思います。そんな時の考え方をたくさん知ることができ、それだけでなく、自分と向き合うためにはどうしたらいいか、アドバイスをくれる一冊です。他にもシリーズがあるので、自分に必要だと感じるものを読んでみてはいかがでしょうか？



音楽科 1年 小山田 愛

『ウエスト・ウイング』

エドワード・ゴリー 著
726.6/G67

“とほももなく怖い作品”というキャッチコピーから始まるこの本。文章は一切なく、ペンで描かれたイラストのみの絵本です。読み手である我々が考える、ある西棟（ウエスト・ウイング）の物語。貴方はどう解釈しますか？



『IMAGINARIUM』

junaida [画]
726.5/J95

junaidaさんのこれまでに出版されてきた絵本の挿入画や制作したイラストをまとめた画集になります。繊細なタッチとどこか不思議でいて引き込まれるような世界観のイラストばかりで逆にページをめくる手が止まってしまうような画集になっています。ぜひ、junaidaさんの世界を感じてみてください。



国際総合学科 1年 坂本 活陽

『DIE WITH ZERO：人生が豊かになりすぎる究極のルール』

ビル・パーキンス 著；児島修 訳
159/P42

お金の使い方について考えたことはありますか？私達が生きていくうえで、お金とはずっと関わっていかなくてはなりません。最期に、充実した人生だったと思えるために、お金とどう向きあうべきかを考えさせられる内容となっています。この機会に「お金」と「人生」を考えてみては。



『運転者：未来を変える過去からの使者』

喜多川泰 著
913.6/Ki63

皆さんにも「運がない」「上手くいかない」と落ち込み、悩んだ経験があるのではないのでしょうか。そんな時にぴったりの一冊です。人生の窮地に追い込まれた主人公が、その壁を乗り越えていく姿に自然と勇気が湧いてきます。ぜひ、この物語を読んで運を転じてみてください。



国際総合学科 1年 有光 皐花

『残像に口紅を』

筒井康隆 著
913.6/Ts93

文字が少しずつ減っていき、その文字を含んだ概念も消えていく。例えば、「ば」という文字が消えれば、「パン」という概念そのものが消えてしまう、そんな不思議な世界がこの小説の中にあります。小説の文章にも消えた文字は使われていません。言葉遊びの不気味な世界観を体験したい人にお薦めです。



『なぜ学ぶのか』

出口治明 著
159.7/D53

なぜ学校に通っているのか、目標も見つからずなんとなく日々が過ぎていく、そんな気持ちの人はいませんか？そんな人はぜひこの本を読んでみてください。いやでもこういった本は難しくてあまり手に取る気がしなかった人にもお薦めです。人生におけるヒントが詰まっていますよ。



情報コミュニケーション学科 1年 石井 陽菜

『キョートリアル！ 自伝的チュートリアル』

チュートリアル [編]
779.14/C68

チュートリアルの2人が地元京都での冠番組「キョートリアル！」の内容を抜粋してまとめられている本。2002年から2022年までに起こった出来事や人物に対して述べられており、どのような歴史を歩んできたのかが対話形式で書かれていて、読みやすく面白い。



『違和感』

太田光 著
914.6/O81

時事問題について取り扱う爆笑問題の太田光さん目線から、人間関係やいじめ、格差社会について述べている本。太田さん自身のことについて書かれている部分があり、太田さんのことについても知ることができる。共感できる部分もありつつ、新しい部分も見えてくるので、面白い。



こんな本が新しく入りました

2023年4月～8月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します

学科	図書ラベル	書名	学科	図書ラベル	書名
美術科	023.89/Ku61	クリエイターのためのZINEのはじめ方：作り方&売り方がわかる	音楽科	810.4/Su96	日本語は国際語になりうるか：対外言語戦略論 鈴木孝夫 [著]
	501.83/D11	プロダクトデザインのスタイリング入門 ピーター・ダブズ著		B7.3/Krei/Sch 1/2-2/2	Schön Rosmarin : für Violine und Klavier Fritz Kreisler
	585.51/D69	白もの特許紙・包装用紙サンプル BOOK 『デザインのはじめ方』編集部編		B8.42/Duk/AIP 1/7-7/7	The sorcerer's apprentice : for wind quintet and percussion Paul Dukas
	627.8/B64	盆栽・伝統園芸植物の鑑賞知識 盆栽・伝統園芸植物の鑑賞知識製作委員会編		B8.42/Kus*T/SG 1/27-27/27	元禄 = Genroku 榊原良三 作曲
	701.1/L88	なぜ美を気にかけるのか：感性的生活からの哲学入門 ドミニク・マカイヴァー・ロベス [ほか] 著		B8.42/Sug*K/Do 1/26-26/26	金管五重奏によるドラゴンクエスト [すぎやまこういち作曲]
	702.16/Ma64	もやもや日本近代美術：境界を揺るがす視覚イメージ 増野恵子 [ほか] 編集		B9.0/Mus/BrH 1/53-53/53	Tableaux d'une exposition Modest Mussorgskij
	726.607/C23	実物で学ぶしつけ絵本の基礎知識：アビッド・A. カーター、ジェームズ・ダイス共著		C/7657/2023	2023年度全日本吹奏楽コンクール課題曲参考演奏 [録音資料]
国際総合学科	333.6/B16	世界経済大いなる収斂：ITがもたらす新次元のグローバル化 リチャード・ボールドウィン著	情報コミュニケーション学科	007.13/Ma85	人工知能 ティープレARNING編 [松尾豊監修]
	334.41/Mi75	「移民国家」としての日本：共生への展望 宮島喬著		141.5/U14	想像力：生きる力の源をさぐる 内田伸子著
	367.2/Y24	論点・ジェンダー史学 山口みどり [ほか] 編著		518.8/Y24	まちを再生する公共デザイン 山口敬太、福島秀哉、西村亮彦編著
	815.8/Sh32	「させていただく」大研究 椎名美智、滝浦真人編		699.3/H48	テレビ番組制作会社のリアリティ：林香里、四方由美、つくり手たちの声と放送の現在 北出真紀恵編
	901.27/Se16	記憶に残るキャラクターの作り方 リンダ・シーガー著		706.7/Ma64/2023	クリエイターの世界を広げるNFTガイド2023 マシフ、杉井靖典著
	953.7/P41	Wあるいは子供の頃の思い出 ジョルジュ・ペレック著		780.5/G34/45	現代スポーツ評論 45 サッカーから見るスポーツの現在 有元健編
	778(W)/Ne	猫たちのアパートメント = Cats' apartment [映像資料] チョン・ジェウン監督		778(J)/Bo	ほけますから、よろしくお願いします。 信友直子監督・撮影・語り [映像資料]
図書館	007.13/F93	ChatGPT：対話型AIが生み出す未来 古川渉一著	図書館	498.5/W74	Drink：あなたが口にする「飲み物」のウソ・ホント アレクシス・ウイレット著
	104/To78	SNSの哲学：リアルとオンラインのあいだ 戸谷洋志著		683.6/Ma74	コンテナから読む世界経済：経済の血液はこの「箱」が運んでいる！ 松田琢磨著
	230.5/C88	雨、太陽、風：天候にたいする感性の歴史 アラン・コルバン編		726.601/Y58	絵本のなかの動物はなぜ一列に歩いているのか：空間の絵本学 矢野智司、佐々木美砂著
	336/A64	瞬時に「言語化できる人」が、うまくいく。 荒木俊哉著		914.6/Y84	ものがわかるということ 養老孟司著

図書館職員注目の一冊

『熟達論：人はいつまでも学び、成長できる』

為末大 著
159/Ta81

人間がどう学び、成熟し、技術が卓越していくのか。どういう段階を経て成長していくのか。オリンピックの著者が競技を通じて自らの経験などを踏まえ、熟達の探求プロセスを5段階に分けて提唱しています。何かの課題を抱えている時に、悩みから抜け出す一助として、このプロセスの活用をおすすめします。(あなん)



『ミュージアムグッズのチカラ = The power of museum goods』[1]

大澤夏美 著
069.021/O74/1

掲載品を含め、昨今のミュージアムグッズは、スタイリッシュで魅力的だ。グッズ目当てに訪問する事もある。そんなグッズ製作の裏には、厳しい財政の中、来館者を増やし収蔵品を未来へという願いが詰まっている。微々たる金額だが、グッズ購入がミュージアム継続に繋がると思えば、さらに財布の紐が緩む。(はさま)



『名画のティータイム：拡大でみる60の紅茶文化事典』

Cha Tea紅茶教室 著
383.889/C31

17世紀から19世紀ヴィクトリア朝の名画に描かれたティータイムの風景から紅茶と喫茶文化を紐解いていきます。ティータイムを楽しむ人々の装いや仕草、茶道具、テーブルセッティングに着目して鑑賞すると、喫茶の習慣が浸透し、定着していく過程がうかがえます。紅茶の歴史の奥深さに心惹かれる本です。(いわもと)



『夢を売る百貨店：本日も完売御礼でございます』

イミエ 著；鈴木沙織 訳
929.13/I11

韓国でシリーズ累計110万部を突破したベストセラー小説。眠っているときにだけ訪れることができるドルゴート夢百貨店は、見たい夢を買えます。お客様が満足できる夢を売るために、睡眠の大切さや夢の中でも得られる素敵な感情を教えてください。夢を買っているとすると、眠るのが楽しみになる一冊です。(かたやま)



意外と知らない図書館活用術！ —「MyOPAC」の紹介—

図書館HPにはMyOPACという本学の学生・教職員が利用できる個人ページがあります。パソコンやスマホから現在借りている資料情報の確認、貸出中の資料の予約、購入リクエスト等ができる便利な機能です。今回はログイン方法とMyOPACのホーム画面の一部を紹介します。ぜひご活用ください！

◆ ログイン方法

図書館HPの右メニュー2段目にある **My OPAC (個人用メニュー)** をクリックすると、MyOPACのログイン画面が表示されます。

ログイン画面のフォームに、ユーザーIDとパスワードを入力しログインしてください。
※ユーザーIDと初回ログイン時のパスワードは、学生証または図書館利用券のバーコードの下の番号です。
(初回ログイン時にパスワードを変更してください)

◆ MyOPACのホーム画面

① 資料検索

館内の資料を検索できます。MyOPACにログインすることで、貸出中の資料を検索結果の所蔵情報から予約できます。

② 購入依頼 (教員用) (※教員のみ)

資料の購入依頼ができます。

③ 購入希望 (学生用) (※学生のみ)

資料の購入リクエストができます。

④ 図書館からのお知らせ

開館時間、休館日等のお知らせが確認できます。

⑤ 貸出情報

現在借りている資料のタイトルや返却日等が確認できます。

⑥ 購入申込情報

②購入依頼、③購入希望から申し込んだ資料の申込状況が確認できます。

⑦ 貸出履歴情報

過去に図書館で借りた資料の情報が確認できます。

MyOPACの詳しい利用方法は、
図書館HPに掲載中です！

メニュー上部の **My OPAC とは** を
クリックしてみてください！



ほん太

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No.41

発行日 2023年10月25日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
TEL・FAX (097) 545-4235
http://www.oita-pjc.ac.jp/library/
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子